

薬学教育モデル・コアカリキュラム

項目	到達目標	SBOコード	CBT
A 全学年を通して：ヒューマニズムについて学ぶ			
(1) 生と死			
【生命の尊厳】	1. 人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。(知識・態度)	A(1)1-1	○
	2. 誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。	A(1)1-2	○
	3. 医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。	A(1)1-3	○
	4. 死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。	A(1)1-4	○
	5. 自らの体験を通して、生命の尊さと医療の関わりについて討議する。(態度)	A(1)1-5	○
【医療の目的】	1. 予防、治療、延命、QOLについて説明できる。	A(1)2-1	○
【先進医療と生命倫理】	1. 医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を概説できる。	A(1)3-1	○
(2) 医療の担い手としての心構え			
【社会の期待】	1. 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。(態度)	A(2)1-1	○
	2. 医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する。(知識・態度)	A(2)1-2	○
	3. 医療の担い手にふさわしい態度を示す。(態度)	A(2)1-3	○
【医療行為に関わるこころ構え】	1. ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。	A(2)2-1	○
	2. 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。	A(2)2-2	○
	3. インフォームドコンセントの定義と必要性を説明できる。	A(2)2-3	○
	4. 患者の基本的権利と自己決定権を尊重する。(態度)	A(2)2-4	○
	5. 医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	A(2)2-5	○
【研究活動に関わるこころ構え】	1. 研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。	A(2)3-1	○
	2. 研究者に求められる自立した態度を身につける。(態度)。	A(2)3-2	○
	3. 他の研究者の意見を理解し、討議する能力を身につける。(態度)	A(2)3-3	○
【医薬品の創製と供給に関わるこころ構え】	1. 医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。(態度)	A(2)4-1	○
	2. 医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	A(2)4-2	○
【自己学習・生涯学習】	1. 医療に関わる諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成する。(知識・技能・態度)	A(2)5-1	○
	2. 医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。(態度)	A(2)5-2	○
(3) 信頼関係の確立を目指して			
【コミュニケーション】	1. 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。	A(3)1-1	○
	2. 意志、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。	A(3)1-2	○
	3. 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。	A(3)1-3	○
【相手の気持ちに配慮する】	1. 対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。	A(3)2-1	○
	2. 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度)	A(3)2-2	○
	3. 対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能)	A(3)2-3	○
【患者の気持ちに配慮する】	1. 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。	A(3)3-1	○
	2. 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)	A(3)3-2	○
	3. 患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)	A(3)3-3	○

薬学教育モデル・コアカリキュラム

項目	到達目標	SBOコード	CBT
	4. 患者やその家族が持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。(態度)	A(3)3-4	○
	5. 不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・態度)	A(3)3-5	○
【チームワーク】	1. チームワークの重要性を例示して説明できる。	A(3)4-1	○
	2. チームに参加し、協調的態度で役割を果たす。(態度)	A(3)4-2	○
	3. 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。(態度)	A(3)4-3	○
【地域社会の人々との信頼関係】	1. 薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。	A(3)5-1	○
	2. 薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)	A(3)5-2	○